

2015

年次報告書

(2015年4月1日～2016年3月31日)



Clutch technology for the world.



クラッチ市場で明日へつなぐ、 世界のリーディングカンパニー

独自の品質管理体制を実現、
グローバル展開することで、
世界トップレベルの
クオリティーと環境対策を実行

世界基準の
品質管理・環境対策

独自の生産技術
「セグメント方式」

クラッチ生産の効率化と
品質の向上に飛躍的な進化を
もたらした生産システム

二輪車用クラッチ
世界シェア

No.1

グローバルな
生産体制
世界規模の提案力

世界10ヶ国の生産拠点ネットワークで、
各地の需要にすみやかに対応、それぞれの
市場・需要にあわせた製品を提案

海外生産拠点

10ヶ国

摩擦材開発
からの
「一貫生産体制」

摩擦材の開発から組み立てまで、一貫工程。
品質・コストに対する顧客の要求を満たす、
提案力の源

海外売上比率

89.2%

To Our Shareholders ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。2015年度の事業内容を報告するにあたり
まして、ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度の業績は、インドネシアやブラジルの二輪車市場は減速したものの、米国や中
国において四輪車用クラッチの販売が堅調に推移したことにより、売上収益は1,674億29百万
円(前期比8.4%増)となりました。営業利益は、減価償却費の増加や減損損失の影響等があった
ものの、増収に伴う利益の増加や内作費削減等の効果もあり97億36百万円(前期比11.3%増)と
なりました。税引前当期利益は、為替差益の減少により81億18百万円(前期比32.9%減)とな
りました。親会社の所有者に帰属する当期利益は、移転価格税制に関する税還付等もあり61億62
百万円(前期比14.8%減)となりました。

期末配当金につきましては、業績等を総合的に勘案し、1株当たり20円とさせていただきます。
これにより、1株当たりの年間配当金は中間配当金とあわせて40円となります。

今後の経営環境は、部品メーカー間のグローバルな競争がますます激しくなっていくものと思
われますが、第9次中期経営計画に掲げる重点施策を確実に実行し、グループの総合力を発揮し
て持続的な成長基盤の構築を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援を賜りますようお願い申し上げます。

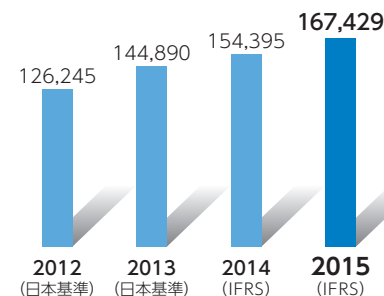
2016年6月



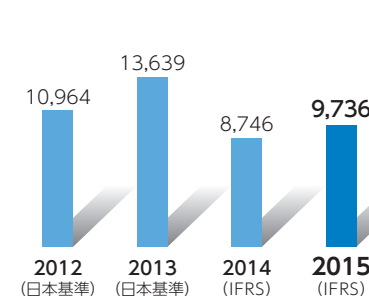
代表取締役社長

松田 年真

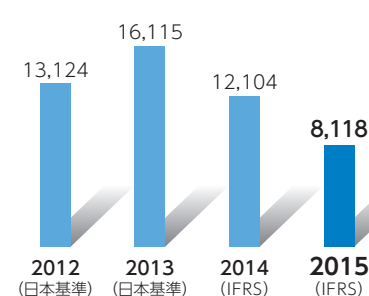
●売上収益(売上高) (百万円)



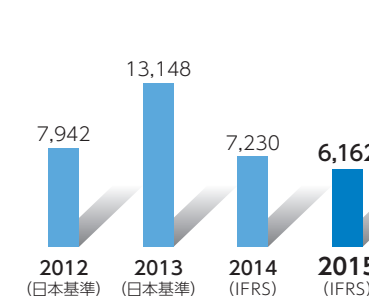
●営業利益 (百万円)



●税引前利益(経常利益) (百万円)

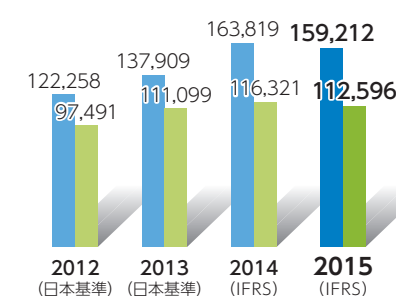


●親会社の所有者に帰属する
当期利益(純利益) (百万円)

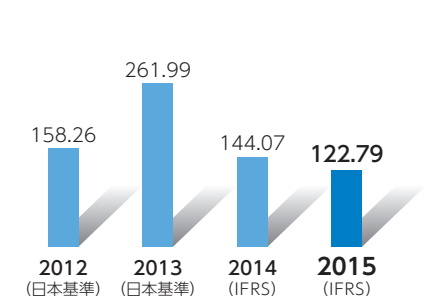


●資産(総資産)/資本(純資産) (百万円)

■資産(総資産) ■資本(純資産)



●基本的1株当たり当期利益 (円)



事業構造の変革を実現。 人づくりモノづくりを見直し、 真のグローバル企業を目指します。

FCCグループは、第9次中期経営計画(2014年度から2016年度)において、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図るため、構造の進化に取り組んでまいりました。2016年度は中期計画最終年度にあたり、第10次中期計画を見据えて構造の進化に加え、体質の強化、『中身の進化』に取り組んでまいります。

第9次中期経営計画 Go! Next Stage of Evolution

第10次中期経営計画

構造の進化

2014

2015

2016

体質の強化

真のグローバル企業へ

グローバルネットワークを活用 生産効率UPを目指して

米国における堅調な需要を背景に、四輪車用クラッチの受注が増加しています。ベトナムに四輪車用クラッチの工場を増設し、米国へ供給するなど、為替動向や各生産拠点の稼働率のバランスを見ながら、最適な供給体制を構築していきます。

工場増強で
四輪車用
生産へ

●ベトナム
●タイ

●日本

相互補完体制

●メキシコ

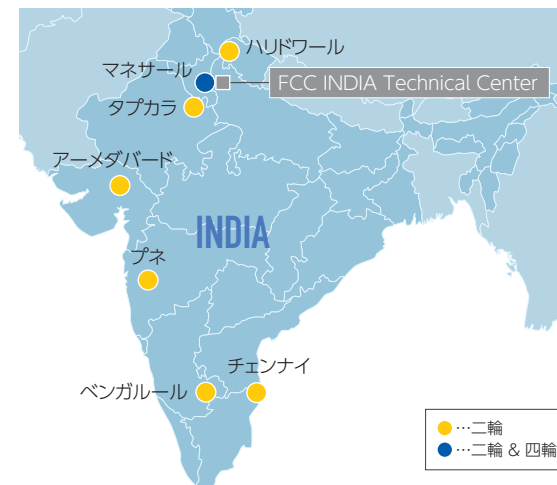
●アメリカ

●ブラジル

米国四輪
受注増↑

■インド7拠点体制本格始動

2014年12月の独資化以降、テクニカルセンターの設立、そしてチェンナイ工場、アーメダバード工場の量産開始により生産拠点は7拠点体制となりました。今後の成長が見込まれるインド市場において更なるプレゼンスの拡大を図ってまいります。



■国内外での拡販が一層進展

燃費規制の強化等を背景に、CVTの増加やATの多段化が進む中で、当社の強みである摩擦材の開発から製造、品質保証に至る一貫体制で培った提案力を生かし、国内外で着実に拡販が進展しています。

新規受注

現代自動車

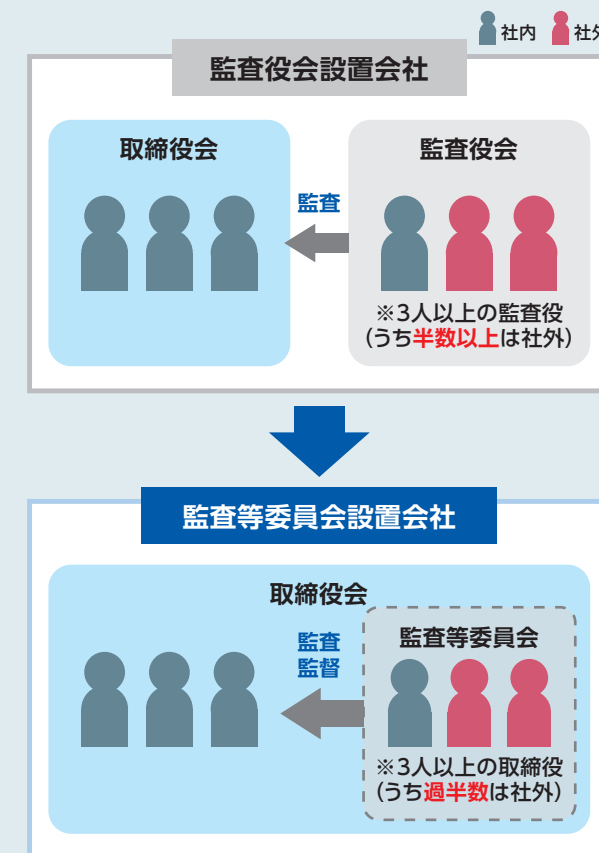
FF8AT用クラッチディスク

ユニプレス

日産・ジャトコ共同開発による
CVT搭載のトルクコンバーター用摩擦材

監査等委員会設置会社への 移行について

当社は、透明・公正かつ迅速・果断な意思決定を行い、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図るため、コーポレートガバナンスの充実に取り組んでまいりました。今般、取締役会の監督機能を強化し、経営の健全性、透明性の向上を図ることを目的に監査等委員会設置会社に移行いたしました。



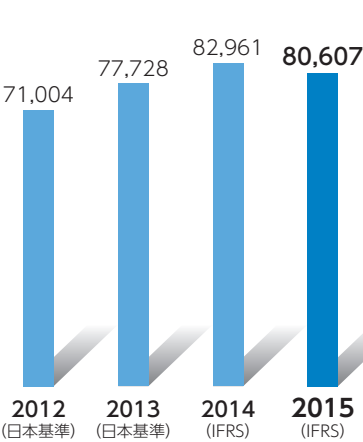
二輪車用クラッチ

- インドやベトナムにおいて販売が増加
- インドネシアやブラジル市場の減速

●売上収益(売上高) (百万円)

80,607 百万円

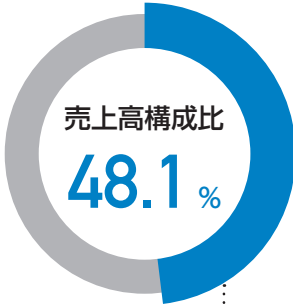
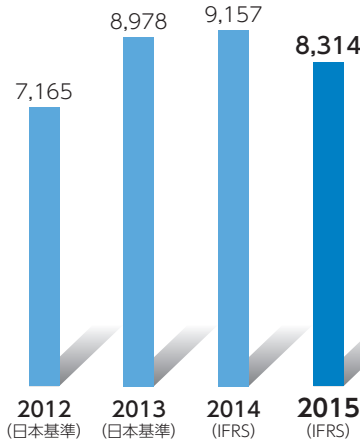
2.8% ↓



●営業利益 (百万円)

8,314 百万円

9.2% ↓



主要顧客別売上高構成比

ホンダグループ	48.7%
ヤマハグループ	12.8%
スズキグループ	3.6%
カワサキグループ	2.0%
兼松(ハーレー他)	6.7%
その他	26.2%

製品情報

オートバイに使用される多板クラッチとスクーターに使用される速心クラッチ等があります。ビジネス・レジャー・スポーツ・レース等の使用目的にあわせ、50ccから2000ccを超える排気量に対応する豊富な種類をご用意しています。その他に、ATV用クラッチや汎用機用クラッチ等があります。

※ATV: All Terrain Vehicle (パギー)

インドやベトナムにおいて販売が増加したものの、インドネシアやブラジルの二輪車市場が減速したことにより、売上収益は806億7百万円(前期比2.8%減)となりました。営業利益は、内作費削減等の効果があったものの、ブラジルの減収影響や減損損失の影響等もあり83億14百万円(前期比9.2%減)となりました。

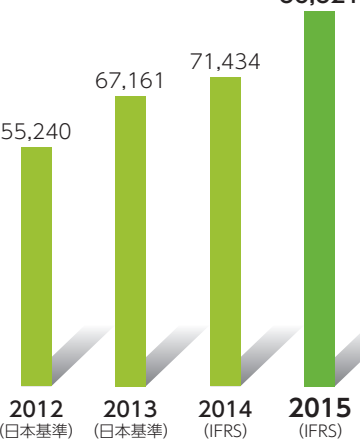
四輪車用クラッチ

- フォード、ZF/FCA向けの販売が大幅に増加

●売上収益(売上高) (百万円)

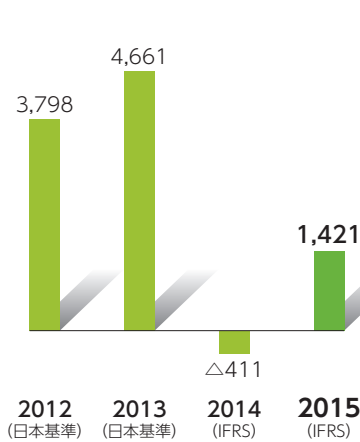
86,821 百万円

21.5% ↑



●営業利益 (百万円)

1,421 百万円



主要顧客別売上高構成比

ホンダグループ	51.9%
フォード	30.5%
ZF/FCA	15.0%
その他	2.7%

製品情報

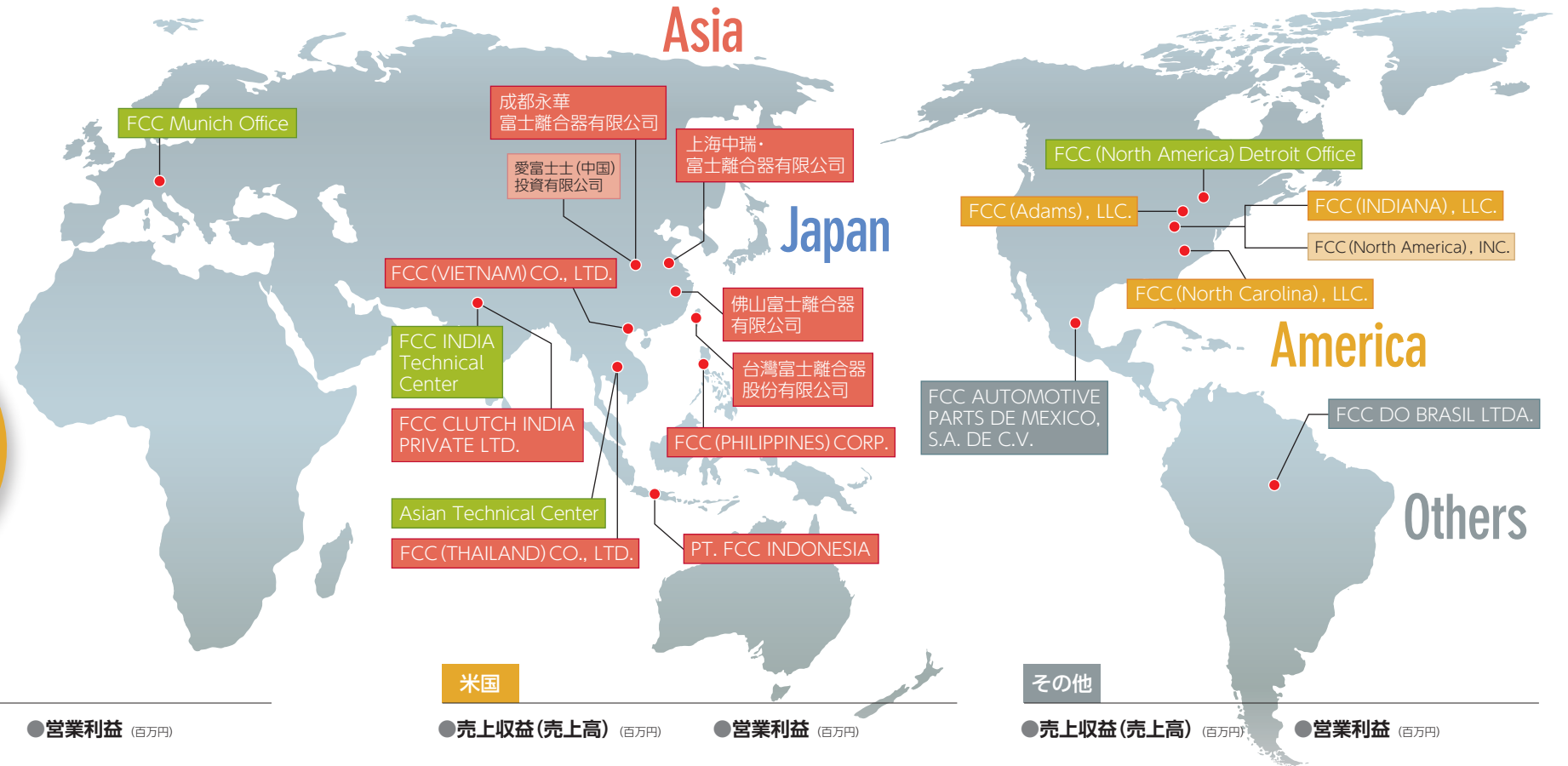
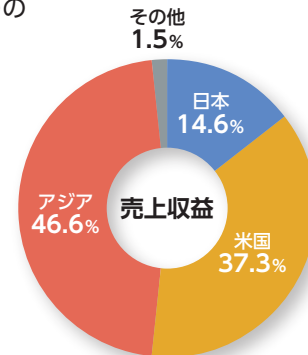
オートマチックトランスミッション(AT)用クラッチ、マニュアルトランスミッション(MT)用クラッチ、トルクコンバーター用ロックアップクラッチ、CVT用クラッチ、4WD用デフクラッチ等があります。

国内自動車販売は減速したものの、米国においてフォード、ZF/FCA向けの販売が増加したことや中国において販売が増加したことにより、売上収益は868億21百万円(前期比21.5%増)となりました。営業利益は、減価償却費の増加や減損損失の影響等があったものの、増収に伴う利益の増加や内作費削減等の効果もあり14億21百万円(前期は4億11百万円の営業損失)となりました。

世界に羽ばたく F.C.C.のネットワーク

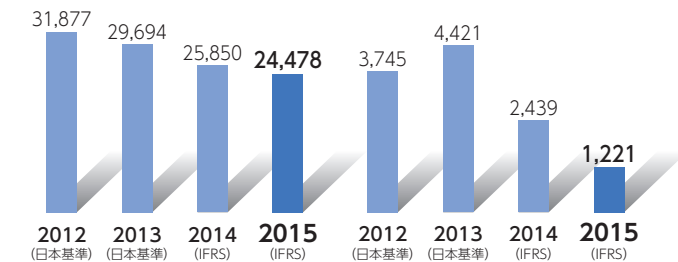
1988年、ジェイテックインコーポレイテッド*(米国インディアナ州)の設立を皮切りに、いまF.C.C.は海外10ヶ国、14生産拠点のラインナップで全世界のニーズに対応しながら、ハイクオリティ、ローコストな製品づくりを目指しています。これによってそれぞれの市場に対応するだけでなく、生産技術を高いレベルに保った相互補完システムをも構築し、より強固な供給体制を確立しました。

※ 現 FCC(INDIANA), LLC.



日本

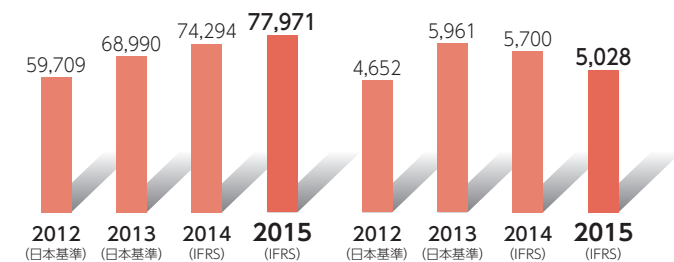
●売上収益(売上高) (百万円) ●営業利益 (百万円)



国内自動車販売の低迷により、売上収益は244億78百万円(前期比5.3%減)となりました。営業利益は、減収影響や減損損失の影響等もあり12億21百万円(前期比49.9%減)となりました。

アジア

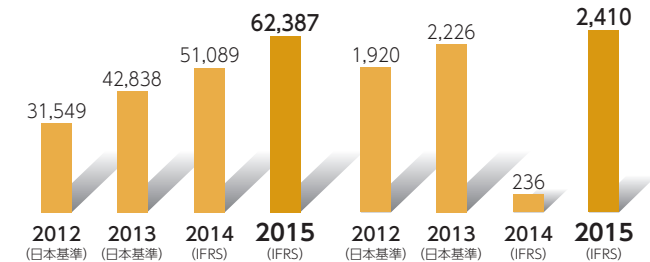
●売上収益(売上高) (百万円) ●営業利益 (百万円)



インドネシアの二輪車市場は減速したもの、インドやベトナムにおいて二輪車用クラッチの販売が増加したことに加え、中国において四輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は779億71百万円(前期比4.9%増)となりました。営業利益は、増収に伴う利益の増加や内作費削減等の効果があったものの、減損損失の影響等もあり50億28百万円(前期比11.8%減)となりました。

米国

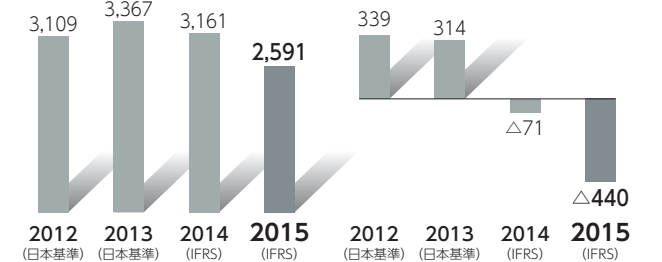
●売上収益(売上高) (百万円) ●営業利益 (百万円)



フォード、ZF/FCA向けの四輪車用クラッチの販売が増加したことにより、売上収益は623億87百万円(前期比22.1%増)となりました。営業利益は、減価償却費の増加等の影響があったものの、増収に伴う利益の増加や内作費削減等の効果もあり24億10百万円(前期比920.1%増)となりました。

その他

●売上収益(売上高) (百万円) ●営業利益 (百万円)



ブラジルの二輪車用クラッチの販売が減少したことにより、売上収益は25億91百万円(前期比18.0%減)となりました。営業利益は、ブラジルの減収影響やメキシコの立上げ費用の増加により4億40百万円の営業損失(前期は71百万円の営業損失)となりました。

Consolidated Financial Statements

連結財務諸表

●連結財政状態計算書

科 目	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当連結会計年度 (2016年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	17,557	23,450
営業債権及びその他の債権	26,024	25,398
その他の金融資産	1,190	905
棚卸資産	21,073	18,007
その他の流動資産	4,599	3,873
流動資産合計	70,445	71,635
非流動資産		
有形固定資産	75,467	72,066
のれん及び無形資産	3,748	2,716
持分法で会計処理されている投資	604	542
その他の金融資産	10,175	8,632
繰延税金資産	2,638	3,126
その他の非流動資産	740	492
非流動資産合計	93,374	87,576
資産合計	163,819	159,212

(単位:百万円)

科 目	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当連結会計年度 (2016年3月31日)
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	15,103	13,981
借入金	4,271	9,887
未払法人所得税	3,090	1,517
その他の流動負債	5,368	4,883
流動負債合計	27,834	30,269
非流動負債		
借入金	12,139	8,426
その他の金融負債	26	29
退職給付に係る負債	1,486	1,903
引当金	36	36
繰延税金負債	5,748	5,688
その他の非流動負債	227	262
非流動負債合計	19,663	16,346
負債合計	47,498	46,616
資本		
資本金	4,175	4,175
利益剰余金	95,864	99,720
自己株式	△3,408	△3,408
その他の資本の構成要素	13,558	6,523
親会社の所有者に帰属する持分合計	110,190	107,010
非支配持分	6,131	5,585
資本合計	116,321	112,596
負債及び資本合計	163,819	159,212

●連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前連結会計年度 自 2014年4月 1日 至 2015年3月31日	当連結会計年度 自 2015年4月 1日 至 2016年3月31日
売上収益	154,395	167,429
売上原価	△131,084	△139,599
売上総利益	23,311	27,830
販売費及び一般管理費	△13,812	△14,099
その他の収益	567	578
その他の費用	△1,320	△4,572
営業利益	8,746	9,736
金融収益	3,569	809
金融費用	△47	△2,422
持分法による投資損益	△163	△4
税引前当期利益	12,104	8,118
法人所得税費用	△4,061	△1,211
当期利益	8,042	6,907
当期利益の帰属		
親会社の所有者	7,230	6,162
非支配持分	811	744
当期利益	8,042	6,907
1株当たり当期利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり当期利益 (円)	144.07	122.79
希薄化後1株当たり当期利益 (円)	—	—

2016年度(2017年3月期)の連結業績予想

売上収益	1,600億円 (前期比	△4.4%)
営業利益	100億円 (前期比	2.7%)
税引前利益	102億円 (前期比	25.6%)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	74億円 (前期比	20.1%)
基本的1株当たり 当期利益	147.44円	

●要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前連結会計年度 自 2014年4月 1日 至 2015年3月31日	当連結会計年度 自 2015年4月 1日 至 2016年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,002	25,108
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,308	△17,369
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,106	96
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△3,199	7,835
現金及び現金同等物の期首残高	19,046	17,557
現金及び現金同等物に係る 換算差額	1,710	△1,942
現金及び現金同等物の期末残高	17,557	23,450

IFRS (国際会計基準) の導入

2015年3月期の有価証券報告書より従来の日本基準に替えて、国際会計基準 (International Financial Reporting Standards、以下IFRS) を導入しました。

【当社グループのIFRS導入目的】

グループ会社の会計基準統一による意思決定の迅速化
財務情報の国際的な比較可能性の向上
ステークホルダーの皆様の利便性の向上

～連結損益計算書における日本基準との違い～

- 売上高は売上収益として表示されます。
- IFRSの営業利益は日本基準の営業利益とは構成内容が変わります。
- 経常利益の概念がなくなり、特別損益の項目もなくなります。
- IFRSでの当期利益は日本基準の「少数株主損益調整前当期純利益」に相当し、その内訳として開示する「親会社の所有者」に帰属する金額が、日本基準の当期純利益に相当します。

Consolidated Financial Statements

連結財務諸表

●連結持分変動計算書

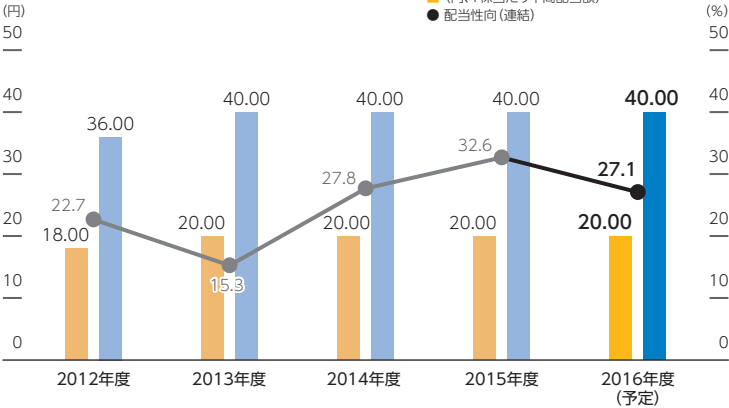
当連結会計年度(自 2015年4月1日 至 2016年3月31日)

(単位:百万円)

科 目	親会社の所有者に帰属する持分								非支配持分	資本合計
	資本金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素				合計		
				在外営業活動体の換算差額	売却可能金融資産の公正価値の変動	確定給付制度の再測定	合計			
2015年4月1日時点の残高	4,175	95,864	△3,408	8,960	4,597	－	13,558	110,190	6,131	116,321
当期利益		6,162	－	－	－	－	－	6,162	744	6,907
その他の包括利益	－	－	－	△6,053	△982	△300	△7,335	△7,335	△726	△8,062
当期包括利益合計	－	6,162	－	△6,053	△982	△300	△7,335	△1,173	18	△1,155
自己株式の取得	－	－	△0	－	－	－	－	△0	－	△0
配当金	－	△2,007	－	－	－	－	－	△2,007	△561	△2,569
持分変動に伴う増減額	－	1	－	－	－	－	－	1	△2	△0
その他の資本の構成要素からの振替	－	△300	－	－	－	300	300	－	－	－
所有者との取引額合計	－	△2,306	△0	－	－	300	300	△2,006	△564	△2,570
2016年3月31日時点の残高	4,175	99,720	△3,408	2,907	3,615	－	6,523	107,010	5,585	112,596

●配当政策および配当金

配当金および配当性向の推移と見通し



配当政策

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置づけ、将来の成長のために必要な設備投資や研究開発を行い、会社の競争力を維持、強化することで企業価値の向上に努めるとともに、連結業績や配当性向等を総合的に勘案し、安定した配当を継続することを基本方針としております。

配当金

第86回定時株主総会の決議により、当期の期末配当金を1株当たり20円とさせていただくことになりました。この結果、1株当たりの年間配当金は、中間配当金20円とあわせて40円となります。

Non-consolidated Financial Statements

個別財務諸表

●貸借対照表

当事業年度(自 2015年4月1日 至 2016年3月31日)

(単位:百万円)

科 目	当事業年度 (2016年3月31日)	科 目	当事業年度 (2016年3月31日)
資産の部		負債の部	
流動資産	34,601	流動負債	15,399
現金及び預金	2,164	支払手形及び買掛金	2,877
受取手形	3	ファクタリング債務	1,706
電子記録債権	131	その他	10,815
売掛金	7,660	固定負債	10,499
たな卸資産	4,178	負債合計	25,899
その他	20,463	純資産の部	
固定資産	58,429	株主資本	64,075
有形固定資産	16,775	資本金	4,175
無形固定資産	109	資本剰余金	4,566
投資その他の資産	41,544	利益剰余金	58,742
資産合計	93,030	自己株式	△3,408
		評価・換算差額等	3,056
		その他有価証券評価差額金	3,056
		純資産合計	67,131
		負債純資産合計	93,030

●損益計算書

自 2015年4月 1日 至 2016年3月31日

(単位:百万円)

科 目	当事業年度 自 2015年4月 1日 至 2016年3月31日
売上高	39,920
売上原価	29,815
売上総利益	10,104
販売費及び一般管理費	7,898
営業利益	2,205
営業外収益	4,488
営業外費用	1,820
経常利益	4,873
特別利益	267
特別損失	4,111
税引前当期純利益	1,029
法人税等	△698
当期純利益	1,728

●株主資本等変動計算書

当事業年度(自 2015年4月1日 至 2016年3月31日)

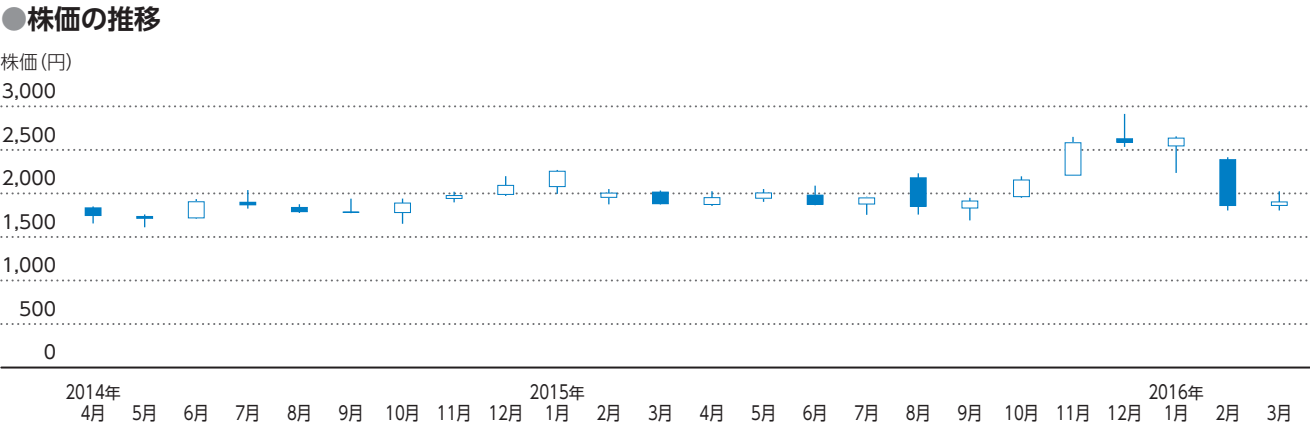
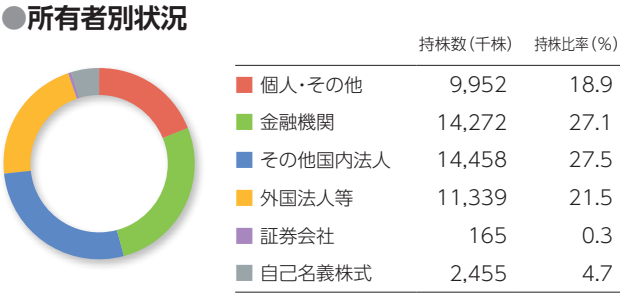
(単位:百万円)

科 目	株主資本											評価・換算差額等		純資産 合計	
	資本金	資本剰余金			利益 準備金	利益剰余金				自己 株式	株主 資本 合計	その他有価証券 評価 差額金	評価・換算 差額等 合計		
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計		その他利益剰余金									利益 剰余金 合計
						配当準備 積立金	固定資産 圧縮積立金	別途 積立金	繰越利益 剰余金						
当期首残高	4,175	4,555	10	4,566	1,043	1,600	948	43,500	11,928	59,021	△3,408	64,355	4,007	4,007	68,362
事業年度中の変動額															
固定資産圧縮積立金の取崩							△0		0	－		－			－
固定資産圧縮積立金の積立							21		△21	－		－			－
別途積立金の積立								3,000	△3,000	－		－			－
剰余金の配当									△2,007	△2,007		△2,007			△2,007
当期純利益									1,728	1,728		1,728			1,728
自己株式の取得											△0	△0			△0
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額（純額）													△951	△951	△951
事業年度中の変動額合計	－	－	－	－	－	－	21	3,000	△3,300	△279	△0	△279	△951	△951	△1,231
当期末残高	4,175	4,555	10	4,566	1,043	1,600	969	46,500	8,628	58,742	△3,408	64,075	3,056	3,056	67,131

Stock Information

株式の状況

●株式の状況	2016年3月31日現在
発行可能株式総数	90,000,000株
発行済株式の総数	52,644,030株
株主数	14,373名
単元株式数	100株
証券コード	7296



●大株主 (上位10名)	2016年3月31日現在 持株数 (千株) 持株比率 (%)	
1 本田技研工業株式会社	10,881	21.6
2 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	3,758	7.4
3 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	2,508	4.9
4 株式会社ワイ・エー	2,019	4.0
5 山本佳英	1,545	3.0
6 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,447	2.8
7 みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	1,315	2.6
8 山本恵以	1,300	2.5
9 エフ・シー・シー取引先持株会	934	1.8
10 NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE MONDRIAN INTERNATIONAL SMALL CAP EQUITY FUND, L.P.	913	1.8

(注) 1. 当社は自己株式を2,455,724株保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

Corporate Data

会社概要

●会社概要

商 号	株式会社エフ・シー・シー (英文:F.C.C. CO.,LTD.)
本 社	静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の36 TEL:053-523-2400(代)
資 本 金	41億75百万円
代 表 者	代表取締役社長 松田年真
設 立	1939年(昭和14年)6月
従 業 員 数	7,893名(連結) 2016年3月31日現在
事 業 内 容	二輪車および四輪車のクラッチならびに その他の部品の製造販売

●役 員	2016年6月22日現在		
代 表 取 締 役 社 長	松	田	年 真
常 務 取 締 役	齋	藤	善 敬
常 務 取 締 役	糸	永	和 広
取 締 役	鈴	木	一 人
取 締 役	松	本	隆 次 郎
取 締 役	向	山	敦 浩
取 締 役	中	谷	賢 史
取 締 役	井	上	憲 一
取締役 (監査等委員)	鈴	木	宏 典
取締役 (監査等委員)	深	津	克 好
社外取締役 (監査等委員)	辻		慶 典
社外取締役 (監査等委員)	佐	藤	雅 秀
社外取締役 (監査等委員)	杉	山	一 統

●主な子会社

(国内生産会社)

株式会社九州エフ・シー・シー

東北化工株式会社

天龍産業株式会社

(海外生産会社)

FCC (INDIANA), LLC.

【米国】

FCC (North Carolina), LLC.

【米国】

FCC (Adams), LLC.

【米国】

FCC (THAILAND) CO., LTD.

【タイ】

FCC (PHILIPPINES) CORP.

【フィリピン】

成都永華富士離合器有限公司

【中国】

上海中瑞・富士離合器有限公司

【中国】

FCC CLUTCH INDIA PRIVATE LTD.

【インド】

PT. FCC INDONESIA

【インドネシア】

台灣富士離合器股份有限公司

【台湾】

FCC DO BRASIL LTDA.

【ブラジル】

佛山富士離合器有限公司

【中国】

FCC (VIETNAM) CO., LTD.

【ベトナム】

FCC AUTOMOTIVE PARTS DE MEXICO, S.A. DE C.V.

【メキシコ】

(持株会社・統括会社)

FCC (North America), INC.

【米国】

愛富士士 (中国) 投資有限公司

【中国】

●事業所所在地

本社	〒431-1394	静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の36
技術研究所	〒431-1304	静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の46
生産技術センター	〒431-1304	静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の78
細江工場	〒431-1394	静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の36
浜北工場	〒434-0046	静岡県浜松市浜北区染地台6丁目1番1号
天電工場	〒438-0202	静岡県磐田市高木1550番地1
鈴鹿工場	〒510-0261	三重県鈴鹿市御園町字桜台5421番地
東京営業所	〒351-0021	埼玉県朝霞市西弁財1丁目1-5 金子ビル1F

●テレビCMのご案内

【放送時間帯】
静岡朝日テレビ
毎週水曜日
「グッド！モーニング」
7:00～8:00の間
「報道ステーション」
22:30～23:00の間

●株主メモ

事業年度：毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会：6月

剰余金の配当基準日：3月31日

中間配当を実施する場合 9月30日

単元株式数：100株

公告方法：電子公告により行います

ホームページアドレス：<http://www.fcc-net.co.jp/>

株主名簿管理人：東京都中央区八重洲1丁目2番1号

特別口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社

お取扱窓口	お取引の証券会社等。特別口座管理の場合は、特別口座管理機関のお取扱店。
特別口座管理機関 お取扱店	みずほ証券およびみずほ信託銀行(※) フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く 9:00～17:00) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行(※) 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。

【配当金計算書について】

配当金支払の際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。

確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

●株主優待制度について

株主優待制度の内容

(1) 対象となる株主様

毎年3月31日、9月30日現在の株主名簿に記録された200株以上ご所有の株主の皆様を対象といたします。

(2) 贈呈品

	贈呈品	送付時期
3月31日現在の株主様	2,500円相当の地元特産品	5月中旬
9月30日現在の株主様	2,500円相当の地元特産品	12月中旬



※所有株式数にかかわらず、200株以上ご所有の株主様一律の内容です。

株式会社 エフ・シー・シー

本社 〒431-1394 静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の36
TEL(053)523-2400(代) FAX(053)523-2405
<http://www.fcc-net.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。